

AirWebApp™

操作説明書

使用上の注意

- 入力中のデータと履歴は、メニューファイルのアップロード等の動作で削除されます。
- **データの消失を防ぐため、入力データの確定や履歴のダウンロードはこまめに行ってください。**

目次

はじめに.....	3
AirWebApp™とは.....	3
対応ブラウザ.....	3
対応リーダー.....	3
使用前の準備.....	4
WELCOM アプリのユーザー登録.....	4
起動.....	5
各種画面.....	6
トップページ.....	6
メニューファイル作成.....	7
設定バーコード表示.....	9
作業画面.....	10
操作方法.....	11
メニューファイル利用例.....	14
データ入力.....	14
データ抽出.....	17
データ照合.....	20
お問い合わせ.....	23

はじめに

AirWebApp™とは

- AirWebApp™は、ブラウザ上でデータの入力/照合を行うことができる WEB アプリケーションです。
- 入力/照合を行う入力項目の設定を行い、BLE 接続されたリーダで読み取ったデータの入力/照合を行うことができます。

対応ブラウザ

- Chrome(Android、Windows)
- Bluefy(iOS)

※Bluefy では、メニューファイル作成と履歴のダウンロードが行えません。

対応リーダ ※ファームウェアバージョン 1.4 以上

- AirScan Finger Mobile Style
- AirScan Finger
- AirScan Mobile
- BlueAir eTicket(Bluetooth)
- AirScan Jacket
- AirScan JIPAD
- AirScan Handheld(無線)

※リーダのサフィックスを初期設定の CR(0x0D)にしておく必要があります。

※初期化の方法は、リーダの取扱説明書をご参照ください。

使用前の準備

WELCOM アプリのユーザー登録

WELCOM アプリでは、弊社からの製品購入でご利用いただけるアプリのダウンロードと、ライセンス申請が行えます。

1. 下記 URL から WELCOM アプリのユーザー登録を行います。

<https://www.e-welcom.com/products/s/welcom-ap/>

2. 「WELCOM アプリ ユーザー登録」をクリックします。

3. 必要事項を入力し、申請します。

4. 申請内容確認後、申請時に入力されたメールアドレスへID/パスワードが届きます。

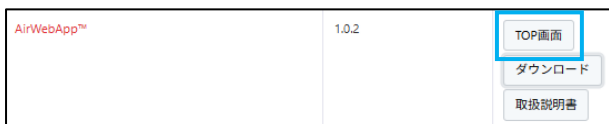
起動

WELCOM アプリにログインし、アプリを起動します。

1. WELCOM アプリにログインします。

<https://welcomdesign.matrix.jp/user/login>

2. AirWebApp™の「TOP 画面」をクリックします。



3. アプリが起動します。



ローカル環境で使用する場合：

- ① 「ダウンロード」をクリックし、ZIP ファイルをダウンロードします。
- ② ZIP ファイルを任意のフォルダにすべて展開します。
- ③ 対応ブラウザで「top.html」ファイルを開きます。



各種画面

トップページ



メニューファイル作成	データ入力/照合のためのメニューファイルを、作成/修正します。 ※Bluefy は、AirWebApp™でメニューファイルを作成できません。(他のブラウザをご利用ください。)
設定バーコード表示	リーダを BLE ペアリングモードにするためのバーコードを表示します。
作業画面(縦画面/横画面)	データ入力/照合を行います。

メニューファイル作成

メニューファイル作成

メニューファイルの修正

ファイルの選択

ファイルが選択されていません

修正するメニューファイルをアップロードするとメニューの設定内容が表示されますので、修正しダウンロードしてください。

メニューのアップロード

メニューファイルのDL

メニューのダウンロード

作成・修正したメニューファイルをDLできます。

メニューファイル

メニュー名

処理完了時通知

ブラウザ側：なし

リーダー側：なし

処理エラー時通知

ブラウザ側：なし

リーダー側：なし

+ 入力項目追加

入力項目1

区 分：必須

重複データを収集しない

名 称：

初期値：

キーボードを表示する

抽出設定

抽出開始位置：

抽出桁数：

照合設定

照合先入力項目No.：

照合先開始位置：

照合桁数：

照合開始位置：

メニューファイルの修正	ファイルの選択	アップロードするメニューファイルを選びます。
	メニューのアップロード	メニューファイルをアップロードします。
メニューファイルの DL	メニューのダウンロード	作成/修正したメニューファイルをダウンロードします。
メニューファイル	メニュー名	メニューファイルの名前を設定します。
	処理完了時通知	入力/照合の完了時に行う動作を、ブラウザとリーダーに設定します。
	処理エラー時通知	入力/照合でエラーが発生した場合の動作を、ブラウザとリーダーに設定します。
	入力項目追加	入力する項目を増やします。
	区分	必須：毎回データ入力を行います。 共通：前回入力された値が表示されます。
	重複データを入力しない	<input checked="" type="checkbox"/> したとき： 収集済みデータを入力しようとした場合、エラーとなります。(入力結果の保存は行われません。)
	名称	入力項目の名前を設定します。
	初期値	最初に表示される値を設定します。
	キーボードを表示する	<input checked="" type="checkbox"/> したとき： スマートフォンや iPhone 等でのデータ入力時、ソフトウェアキーボードが表示されます。(物理キーボードが付属している場合

		は表示されません。)
	抽出開始位置	何桁目から抽出するか設定します。
	抽出桁数	抽出する桁数を設定します。
	照合先入力項目 No.	照合相手の入力項目番号を設定します。
	照合先開始位置	照合相手の何桁目から照合するか設定します。
	照合桁数	照合する桁数を設定します。
	照合開始位置	何桁目から照合するか設定します。

設定バーコード表示

- ・ リーダを BLE ペアリングモードにするためのバーコードを表示します。
- ・ [ペアリングを解除]→[BLE 通信に設定]→[ペアリング開始]の順に 3 つのバーコードを読み取ります。

※リーダのサフィックスを初期設定の CR(0x0D)にしておく必要があります。(初期化の方法は、リーダの取扱説明書をご参照ください。)

[ペアリングを解除]



[BLE 通信に設定]




[ペアリング開始]



作業画面

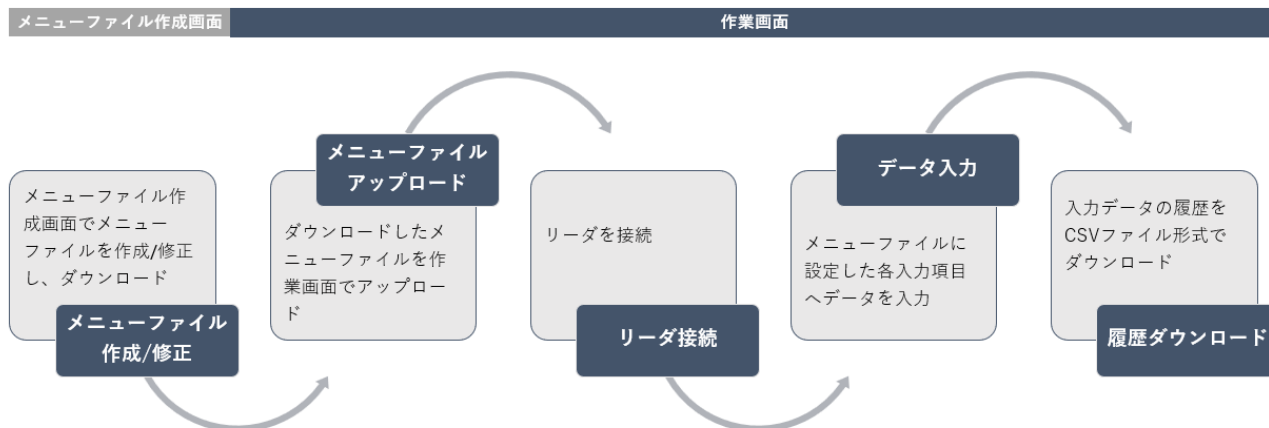
- ・ 入力中のデータと履歴は、メニューファイルのアップロード等の動作で削除されます。
- ・ データの消失を防ぐため、入力データの確定や履歴のダウンロードはこまめに行ってください。



メニューファイルアップロード	ファイルの選択	アップロードするメニューファイルを選びます。
	メニューのアップロード	メニューファイルをアップロードします。 ※入力中のデータ、履歴が削除されます。
端末との BLE 接続	接続	リーダを接続します。
	切断	リーダとの接続を切断します。
	再接続	直前に接続されていたリーダと再接続します。 ※ページの更新、ページの移動を行うと再接続できません。
	自動再接続する	<input checked="" type="checkbox"/> したとき： リーダとの接続が解除されたとき、自動的に直前に接続されていたリーダと再接続します。 ※ページの更新、ページの移動を行うと再接続できません。
データ入力	確定	入力中のデータを確定します。
	クリア	入力中のデータをすべて削除します。 ※入力中のデータは、メニューファイルのアップロード、ページの更新/移動でも削除されます。
	履歴 DL	履歴を CSV でダウンロードします。 (ファイル名： CollectionHistory_yyyyMMdd_HHmss.csv)
	履歴クリア	履歴を削除します。 ※履歴は、メモリ不足、メニューファイルのアップロード、ページの更新/移動でも削除されます。
トリガーボタン		<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業画面で「横画面モード」を選ぶと右下に表示されます。 ・ クリックすることでバーコード読み取り時のトリガーボタンとして利用できます。

操作方法

以下手順で 사용합니다。



1. メニューファイル作成画面を開きます。



2. メニューファイルを作成し、ダウンロードします。

既存のメニューファイルを修正する場合：

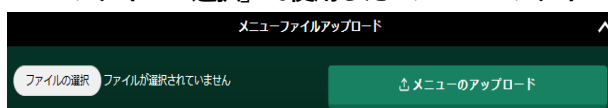
- ① 「ファイルの選択」で修正したいメニューファイルを選択
- ② 「メニューのアップロード」でアップロード
- ③ メニューファイルを修正
- ④ 「メニューのダウンロード」でダウンロード



3. 縦か横、どちらかの作業画面を開きます。



4. 「ファイルの選択」で使用したいメニューファイルを選び、「メニューのアップロード」でアップロードします。



5. 下記バーコードを上から順に読み取り、リーダをペアリングモードにします。

※リーダのサフィックスを初期設定の CR(0x0D)にしておく必要があります。

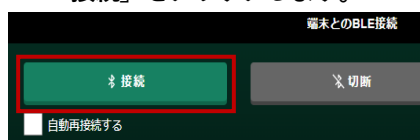
※ペアリングしたことのあるリーダは、この手順は不要です。(ペアリングが切れている場合、再度行う必要があります。)

 %%Clear_Pair	ペアリング解除
 %%BT_BLE	Bluetooth BLE
 %%EZPair	ペアリング開始

「バーコード表示」で同じバーコードを表示できます。



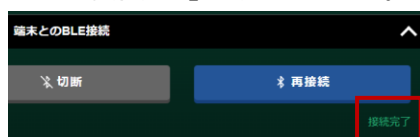
6. 「接続」をクリックします。



7. 接続先のデバイスを選んで「ペアリング」をクリックします。



8. 「接続完了」と表示されます。



9. データを入力します。

※最後の入力欄を手入力した場合、「確定」をクリックします。

日時	商品コード1	商品コード2	結果
2024/11/08 15:28:15	1234567890128	1234567890122	NG
2024/11/08 15:27:07	1234567890128	1234567890128	OK

- 「クリア」のクリックの他、データ入力中のメニューファイルのアップロード、ページの更新/移動で入力中のデータが削除されます。
- データ消失を防ぐため、こまめにデータの確定を行ってください。
- 照合の場合、照合結果は履歴の末尾に追加されます。

商品コード2	結果
1234567890122	NG
1234567890128	OK

10. 「履歴DL」をクリックし、履歴をCSVファイルでダウンロードします。

- CSVのファイル名は「CollectionHistory_yyyyMMdd_HHmss.csv」です。
- Bluefyでは「コピー」をクリックすることで、「」区切りの履歴データがクリップボードへコピーされます。

日時	商品コード1	商品コード2	結果
2024/11/08 15:28:15	1234567890128	1234567890122	NG
2024/11/08 15:27:07	1234567890128	1234567890128	OK

- 「履歴クリア」のクリックの他、メモリ不足の発生、メニューファイルのアップロード、ページの更新/移動で履歴が削除されます。
- データの消失を防ぐため、こまめに履歴のダウンロードを行ってください。

メニューファイル利用例

データ入力

入荷時、商品コードと数量のデータを入力します。

商品コードと数量を入力し、処理完了時とエラーの発生時に以下の動作を行うよう設定します。

- ・ ブラウザ側：ダイアログ表示
- ・ リーダ側：バイブ

1. メニューファイル作成画面を開きます。



2. メニューファイルの基本的な設定をします。

今回は以下を設定します。

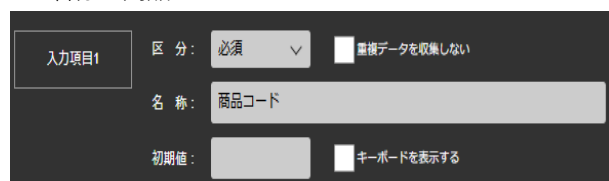
- ・ メニュー名：入荷
- ・ 処理完了時通知：ブラウザ側→ダイアログのみ、リーダ側→バイブのみ
- ・ 処理エラー時通知：ブラウザ側→ダイアログのみ、リーダ側→バイブのみ

メニュー名	入荷	
処理完了時通知	ブラウザ側: ダイアログのみ	スキャナ側: バイブのみ
処理エラー時通知	ブラウザ側: ダイアログのみ	スキャナ側: バイブのみ

3. 入力項目 1 を設定します。

今回は以下を設定します。

- ・ 区分：必須
- ・ 名称：商品コード



4. 「入力項目追加」をクリックして、入力項目 2 を追加します。



5. 入力項目 2 を設定します。

今回は以下を設定します。

- ・ 区分：必須
- ・ 名称：数量
- ・ キーボードを表示する：☑



6. 「メニューのダウンロード」でダウンロードします。



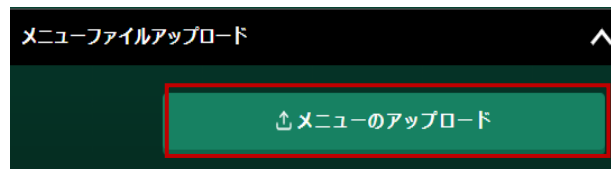
7. トップページに戻り、作業画面を開きます。



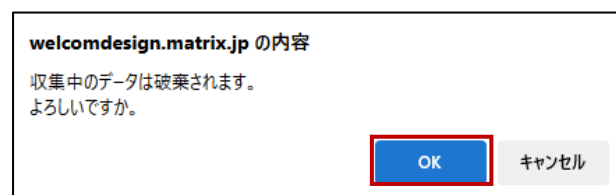
8. 「ファイルの選択」をクリックし、作成したメニューファイルを選びます。



9. 「メニューのアップロード」でアップロードします。



10. 「収集中のデータは破棄されます」のメッセージで、「OK」を選びます。



11. メニューファイルに設定した内容が反映されたらデータ入力します。

12. データ入力時、ブラウザにダイアログが表示されます。(リーダはパイプが動作します。)



データ抽出

読み取ったデータを、指定した位置から抽出します。

商品コードの3桁目から5桁を抽出し、処理完了時とエラーの発生時に以下の動作を行うよう設定します。

- ・ ブラウザ：ダイアログ表示
- ・ リーダ：バイブ



1. メニューファイル作成画面を開きます。



2. メニューファイルの基本的な設定をします。

今回は以下を設定します。

- ・ メニュー名：抽出
- ・ 処理完了時通知：ブラウザ側→ダイアログのみ、リーダ側→バイブのみ
- ・ 処理エラー時通知：ブラウザ側→ダイアログのみ、リーダ側→バイブのみ



3. 入力項目1を設定します。

今回は以下を設定します。

- ・ 区分：必須
- ・ 名称：商品コード

4. 抽出設定で、開始位置と桁数を設定します。

今回は以下を設定します。

- ・ 抽出開始位置：3
- ・ 抽出桁数：5

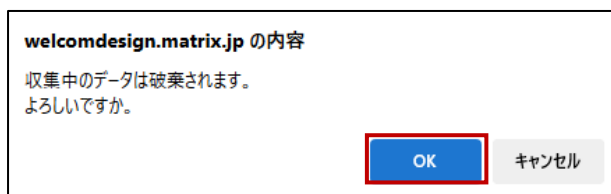
5. 「メニューのダウンロード」でダウンロードします。

6. トップページに戻り、作業画面を開きます。

7. 「ファイルの選択」をクリックし、作成したメニューファイルを選びます。

8. 「メニューのアップロード」でアップロードします。

9. 「収集中のデータは破棄されます」のメッセージで、「OK」を選びます。



10. メニューファイルに設定した内容が反映されたら、リーダでデータ入力します。

※キーボードで手入力して「確定」をクリックした場合、抽出は行われません。

11. データ入力時、ブラウザにダイアログが表示されます。(リーダはパイプが動作します。)



商品コードの3桁目から、5桁を抽出して表示します。

データ照合

2つの商品コードを照合します。

入力した2つの商品コードの2桁目から5桁を照合し、処理完了時とエラーの発生時に以下の動作を行うよう設定します。

- ・ ブラウザ：ダイアログ表示
- ・ リーダ：バイブ

1. メニューファイル作成画面を開きます。



2. メニューファイルの基本的な設定をします。

今回は以下を設定します。

- ・ メニュー名：照合
- ・ 処理完了時通知：ブラウザ側→ダイアログのみ、リーダ側→バイブのみ
- ・ 処理エラー時通知：ブラウザ側→ダイアログのみ、リーダ側→バイブのみ

3. 入力項目 1 を設定します。

今回は以下を設定します。

- ・ 区分：必須
- ・ 名称：商品コード 1

4. 「入力項目追加」をクリックして、入力項目 2 を追加します。

5. 入力項目 2 を設定します。

今回は以下を設定します。

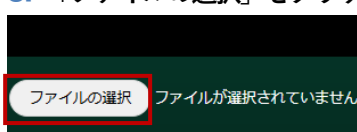
- ・ 区分：必須
- ・ 名称：商品コード 2
- ・ 照合先入力項目 No. : 1(←入力項目 1 が照合相手となります)
- ・ 照合先開始位置 : 2(←入力項目 1 の 2 桁目から照合します)
- ・ 照合桁数 : 5
- ・ 照合開始位置 : 2(←入力項目 2 の 2 桁目から照合します)

6. 「メニューのダウンロード」でダウンロードします。

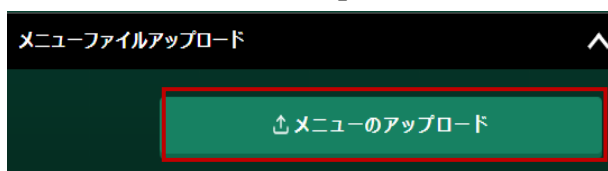
7. トップページに戻り、作業画面を開きます。



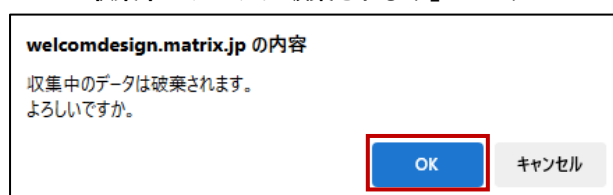
8. 「ファイルの選択」をクリックし、作成したメニューファイルを選びます。



9. 「メニューのアップロード」でアップロードします。



10. 「収集中のデータは破棄されます」のメッセージで、「OK」を選びます。



11. メニューファイルに設定した内容が反映されたらデータ入力します。

12. データ入力時、ブラウザにダイアログが表示されます。(リーダはパイプが動作します。)



入力項目 1 と 2 に入力された 2 つの商品コードの、2 桁目から 5 桁を照合して OK/NG を表示します。

お問い合わせ

弊社ホームページ <http://www.e-welcom.com/> 問合せフォームよりお問い合わせください。



ウェルコムデザイン株式会社

U R L : www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

本 社 〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘1-13-3
TEL. 078-994-5333(代) FAX. 078-994-5400

東京本社 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252